

4 感動共有スポーツ推進プロジェクト

1 プロジェクトの概要

(1) 目標

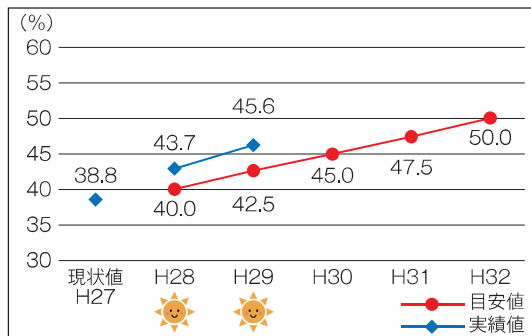
- 本県での国民体育大会・全国障害者スポーツ大会開催に向けて、更なる競技力向上を図るとともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催等も契機に、県民のスポーツへの興味・関心を高め、誰もがスポーツに親しめる機会と交流の場を広げます。

(2) 重点的取組

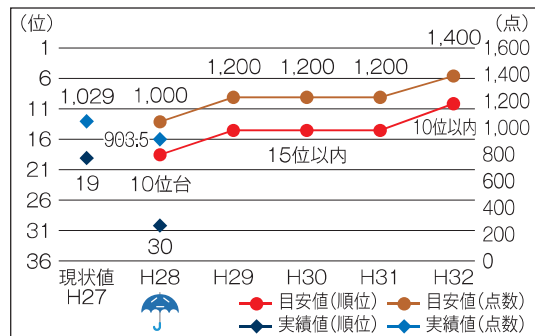
- ☆ スポーツを通じた人づくり
- ☆ 国体等を見据えた競技力向上

2 プロジェクトの進捗を表す成果指標等の状況

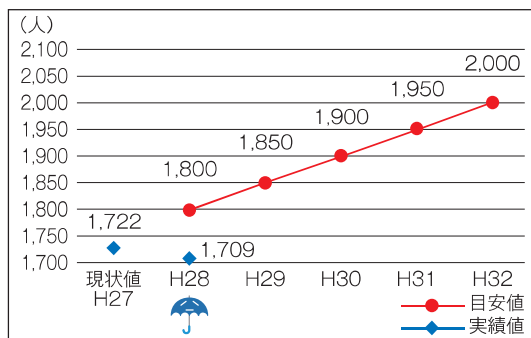
① スポーツ活動実施率



② 国民体育大会の天皇杯順位と得点



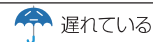
③ 県障害者スポーツ大会参加選手数



(注)達成見込の判断



やや遅れている



○成果指標の分析

- ① 平成29年度の成人の週1日以上のスポーツ活動実施率は、45.6%となっており、昨年度よりポイントの向上がみられた。
- ② 平成28年の国民体育大会の天皇杯順位と得点は、30位、903.5点となっている。各競技に対する側面的な支援が十分なされていないことも一つの原因と考えられる。
- ③ 県障害者スポーツ大会参加選手数は、県障害者スポーツ協会等と連携し周知に努めたものの、裾野の広がりに至らず、低調である。

3 県民満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	35.3%	33.7%			
やや不満・不満の割合	11.6%	11.2%			

4 主な取組成果

◎ スポーツを通じた人づくり

▷ 健やかな人づくりを推進

○すべての県民が気軽にスポーツ活動を楽しむことができる環境づくり

- ・「とちぎスポーツフェスタ」の充実によるスポーツの裾野の拡大
- ・総合型地域スポーツクラブの創設・運営支援
- ・障害者スポーツについての情報発信と活動機会の提供及び障害者スポーツセンター（わかくさアリーナ）の供用の開始

○総合スポーツゾーンの整備推進

- ・平成32年の東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致や平成34年の国体開催等を見据えた総合スポーツゾーンの整備の着実な推進

○スポーツを支えるボランティア等の育成

- ・スポーツボランティアのリーダー的役割を担う人材の養成
- ・障がい者スポーツ指導員を養成する「初級指導員養成講習会」の継続実施

○オリンピック・パラリンピック教育の推進

- ・学校における体育・保健体育の授業等を通じたオリンピック・パラリンピック教育の推進

○東京オリンピック・パラリンピック等キャンプ地誘致の推進

- ・ハンガリーを相手国とするホストタウンの登録及び交流計画に基づくシンポジウムの開催
- ・事前キャンプの誘致等にオール栃木体制で取り組むための「東京オリンピック・パラリンピック等に向けたとちぎビジョン推進協議会」の設置
- ・ハンガリーオリンピック委員会による県内トレーニング施設の視察受入れ

○本県開催の国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けた機運醸成

- ・広報啓発活動の積極的な展開及び国体愛称・スローガンの制定
- ・国体の各競技会の円滑な運営及び国体後の県民スポーツの一層の普及・振興に向けた計画的な競技役員育成
- ・大会の円滑な運営に必要な情報支援スタッフの育成・確保

○県内プロスポーツチーム等との連携によるスポーツの振興

- ・子どもたちを対象としたスポーツ教室などチームが実施する地域貢献活動への協力
- ・各プロスポーツチームと連携し、県民の日イベントへの参加やホームゲームのPR等により、県民が気軽にスポーツに親しむことができる機会の創出

◎ 国体等を見据えた競技力向上

▷ 競技力向上

- ジュニア選手の発掘及び各年代に応じた選手の育成・強化
 - ・運動能力の高い小・中学生を対象とした発掘・育成プログラムの実施
 - ・一貫指導体制による選手育成・強化の推進

- 指導者の計画的な養成及び資質の向上
 - ・中央競技団体や県競技団体が実施する指導者講習会等への県内指導者の派遣
 - ・各種指導者講習会の開催

- スポーツ医・科学サポートや競技環境の整備等の推進
 - ・スポーツ医・科学分野の活用促進
 - ・特殊なスポーツ用具の整備など競技環境の整備

- 障害者スポーツの普及及び選手の育成・強化
 - ・障害者スポーツセンターにおける初心者向け練習会等の開催
 - ・選手の育成・強化や指導者の養成・資質向上を目的とした県障害者スポーツ選手等育成・強化委員会の開催
 - ・障害者スポーツセンターの整備

5 課題

<スポーツ医・科学支援体制の整備・拡充>

競技力向上には、指導者や競技団体の経験や知見に基づく指導に加え、スポーツ医・科学・情報による支援が重要であり、本県では県体育協会へ委託しスポーツ医・科学事業を実施していますが、医学・心理学・栄養学など、分野間での情報の共有を一層図っていく必要があります。